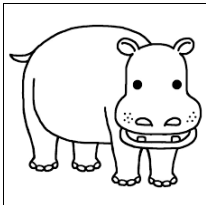


南小カバ校長の〇〇できました日記



梅雨の中、大きな声で あいさつが・・・

最近、子どもたちのあいさつの声が大きくなってきました。朝の交通当番に立っているとそんな思いになります。よく見ていると登下校の行き帰りにお会いする地域の皆さんにもあいさつができるようになってきました。「あいさつは 心と心をつなぐ 魔法の合言葉」。子どもたちの元気よいあいさつを聞くと励まされます。



毎年五月は市内の陸上大会と相撲大会があります。今年も南小の子どもたちは四月からの練習をよく頑張ることができました。まさに先生方の熱血指導。お蔭で小学生の相撲大会では六学年中三学年で優勝することができました。陸上大会でも多くの種目で表彰状をいただくことができました。子どもたちにとって思い出の1ページとなりました。「負けて覚える相撲かな」と言います。勝ったり、負けたりする中でたくましくなっほしいと思います。

陸上大会は大変暑い1日となりました。南小の子どもたちは活躍してくれました。選手だけでなく、大会のために係活動してくれた子どもたちもよく頑張っていました。暑さでダレることなくきびきびと仕事をすることができました。会場で様々な役を果たすことができました。子どもたちは裏方の仕事も頑張ってくれました。その姿を見て感動しました。

6月1日、南小学校でプール清掃が行われました。プールの床や壁をきれいにするとともにプールの周囲の目隠しもきちっと設置しました。6年生の子どもたちの頑張りが見られたプール清掃でした。11日、曇天のむし暑い中、南小はプール開きの日を迎えました。2時間目に6年生の子どもたちが元気よくプールに入りました。今年もプールの時間一生懸命練習し、昨年よりも少しでも長く、そして速く泳ぐことができるようになることを期待しています。これから夏休みまで、水泳の時間での頑張りを期待しています。

